

事業の総括

平成22年度は、本会創設45周年という記念すべき年にあたるとともに、本会の活動指針である「北九州市地域福祉活動計画第三次計画」の最終年度でもありました。

この節目の事業年度では、本会が実施する各事業において、これまで積み重ねてきた地域住民や関係機関等との協働など、新たな地域福祉活動計画を見据え下記の重点事項に基づき事業拡充を図りました。

年度末3月11日には、国難とも言える東日本大震災に遭遇し、震災直後から被災地支援に向け、全国社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携を取りながら、義援金の募金活動や本会職員の現地派遣、災害支援ボランティアの体制整備、現地の社会福祉協議会に対する経済的支援等をおこないました。

また、官民協働による「絆プロジェクト北九州会議」の立上げにも参画し、被災者受入支援体制づくりにも積極的に取り組みました。

本会を取り巻く社会情勢も、政治、経済、雇用など依然として厳しい環境が続く中で、本会が果たす社会的責任も増大していることから、経営・組織基盤の強化を視点に、会務運営及び事業全般を見直し、経営改善に努めました。

記

北九州市地域福祉活動計画第三次計画「基本目標」

- I 地域福祉の理解を広げよう
- II 住民による身近な地域づくりを進めよう
- III 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう
- IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

北九州市地域福祉活動計画第三次計画「重点事項」

- 1 市民の地域福祉に対する理解の促進
 - 広報啓発の強化
 - 福祉教育の推進
- 2 住民による主体的な地域づくりの充実強化
 - 小地域福祉活動の活性化
 - 災害時の福祉救援体制づくり
 - 地域福祉活動計画の推進（新しい地域福祉活動計画の策定）
- 3 一人ひとりの多様な福祉課題の解決を目指す事業の推進
 - 権利の擁護と福祉サービス利用援助
- 4 各種社会福祉施設等との連携強化
 - 福祉等専門職の地域への参加、参画の推進
- 5 事務事業見直しによる効率的な社協経営の推進
 - 小地域福祉活動の活性化
- 6 推進基盤の強化
 - 校(地)区・区・市社協基盤整備